

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育・教職実践演習(幼)	演習	2	齋藤 尚志・田中 麻紀子・林 幹士 園田雪恵
【授業のテーマ及び到達目標】			
<p>本学の保育者養成の理念に基づき、保育者養成課程の他の授業科目の履修や教職課程外のさまざまな活動を通して身につけた資質能力が、保育者としてどのように生かされていくのか、保育者としての知識・能力・実践的指導力などがどのように身につけてきたのか最終確認をする。さらに、保育者として、自己にとって何が課題であるのか自覚し、不足している知識・技能等を補い、その定着を図ることを目指す。</p>			
【授業の概要】			
<p>授業の目標を達成するために、①保育者の使命や子どもへの責任の理解、②社会人としての基本、③子どもの発達や心身の状況、④子どもを一つの集団としてまとめていく方法、⑤保育者の専門知識、⑥保育者の指導法、⑦保育・教育を行う上での基本的な表現力、⑧保育・教育現場の視点などについて取り扱う。授業方法としては、講義・グループ討議・事例研究・役割演技(ロールプレイング)等を取り入れ展開する。</p>			
【全体の授業計画・内容】			
1. イントロダクション –これまでの「学び」をふり返って–			
2. (1)子ども理解			
3. (2)個に応じた指導と評価			
4. (3)保護者・地域との連携			
5. (4)保育・教育問題への対応			
6. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ1発表)			
7. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ2発表)			
8. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ3発表)			
9. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ4発表)			
10. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ5発表)			
11. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ6発表)			
12. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ7発表)			
13. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ8発表)			
14. 保育・教育実践の事例研究①～⑧ –模擬保育・模擬授業–(グループ9発表)			
15. 試験およびまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:授業前に当日の課題・テーマについて、自分自身の考えを整理しておくこと。			
学習のあり方:各自の課題を持ち、授業に参加すること。			
復習のあり方:授業後に当日の発表内容とディスカッションの内容を自宅で確認し、それに対する自分の考えをまとめておくこと。			
【成績評価】			
模擬保育(50%)、試験(20%)、課題(30%)から総合的に判断する。			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 各クラスにおいて、担当教員から模擬保育の講評を受ける。また、講義に関する疑問や質問は、授業の終わりに担当教員が解説する。			
【テキスト】 厚生労働省『保育所保育指針』フレーベル館、文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館 内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館			
【参考文献】			
授業時に適宜指示する。			